

第 11 期レイカディア大学地域貢献活動アンケート調査のまとめ

第 11 期サポートの会
地域活動部会アンケート委員会

1. はじめに

レイカディア大学は、滋賀県に在住する社会参加意欲の高い高齢者が、明るい長寿社会の創造を目指し、仲間と語らう中で、新しい知識・教養・技術を身につけ、地域の担い手として活躍できるよう支援している場です。

この調査は、レイカディア大学と協働して学生の支援を行うサポートの会の地域活動部会が、草津校の卒業生に対し毎期アンケート調査を実施しているもので、今期が 7 回目となります。調査の目的は、地域で活躍している卒業生の地域貢献活動実態把握と、存在意義を明らかにするために実施しています。

例年、4 月～3 月の 1 年間を対象としていますが、今期はコロナによる卒業時期の延期があり、10 月～9 月の期間に変更しました。

アンケート調査結果で記載しているように、対象期間においてコロナの影響により卒業生の地域貢献活動時間は縮小を余儀なくされています。ただし、活動者数自体は大きな落ち込みもなく、卒業生により根強い地域活動が継続されている実態も確認することができ、本調査の意義があったものと考察します。

2. 調査対象

(1) 対象者数（令和 3 年 10 月現在の対象人数*）

第 39 期卒業生 [平成 30 年 9 月卒業]	116 名
第 40 期卒業生 [令和 元年 9 月卒業]	111 名
第 41 期卒業生 [令和 3 年 3 月卒業]	107 名
対象人数計	334 名

*各学科の集約担当者から対象者の報告を受けた総合計を対象人数としています。

推移（サポートの会の期で表示）

8 期(2018 年)	9 期(2019 年)	10 期(2020 年)	11 期(2021 年)
348 名	340 名	332 名	334 名

(2) 調査対象期間

令和 2 年 10 月 1 日から令和 3 年 9 月 30 日までの 1 年間です。

41 期生の卒業遅延のため、今期は半年間あとへ変更しました。

3. アンケート調査結果

(1) 全般について 【表-1】《グラフ1》

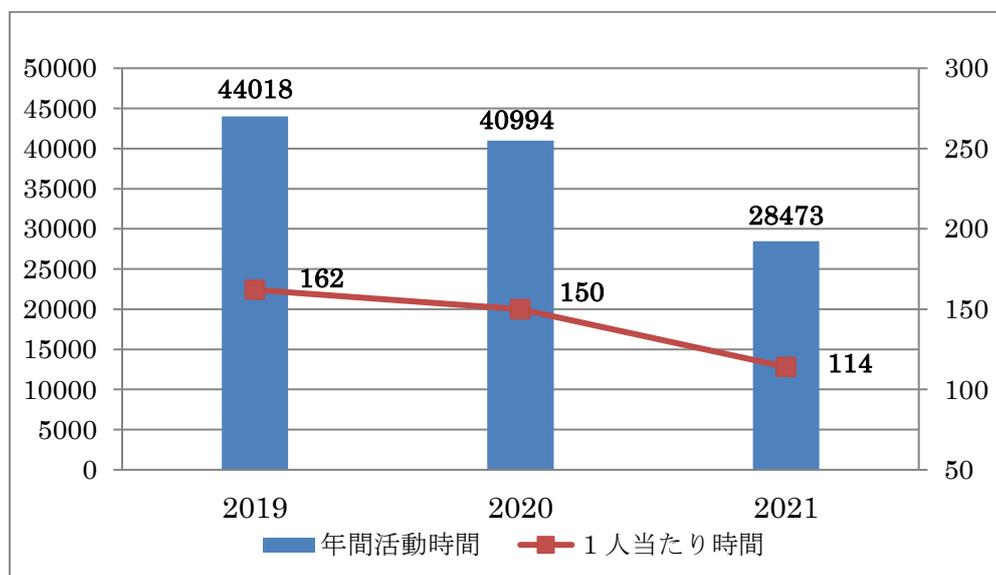
- ・ 今期の対象者数は前期とほぼ同様で実施できました。活動報告者は249人、前期比24人減で91%でした。活動者割合は86%で、前期比マイナス3ポイントとほぼ同水準を維持し、引き続き地域貢献活動への意欲の高さを示しています。
- ・ 年間活動時間は28,473時間、前期比69%まで落ち込みました。新型コロナが大きく影響していることが推測されます。未活動報告者、連絡なしの増加も減少要因となっています。
- ・ 活動報告者1人当たりの年間活動時間は114時間、前期比76%へ減少ですが、8割弱の水準でなんとか踏みとどまっており粘り強い活動の様子が読み取れます。

【表-1】 年間活動時間

	第11期(2021年)				第10期実績 (2020年)	第10期との比較	
	39期	40期	41期	合計		前期比	前期差
対象者数(人)	116	111	107	334	332	101%	2
活動報告者(人) a	77	79	93	249	273	91%	△ 24
未活動報告者(人) b	11	19	12	42	34	124%	8
連絡なし(人)	28	13	2	43	25	172%	18
活動者割合 a/a+b	88%	81%	89%	86%	89%	96%	△3ポイント
年間活動時間 c	10,277	9,463	8,733	28,473	40,994	69%	△ 12521
1人当たりの年間活動時間 c/a	133	120	94	114	150	76%	△ 36

※参考、第9期実績、年間活動時間：44,018、活動報告者：271、1人当たりの年間活動時間：162

《グラフ1》 年間活動時間の推移



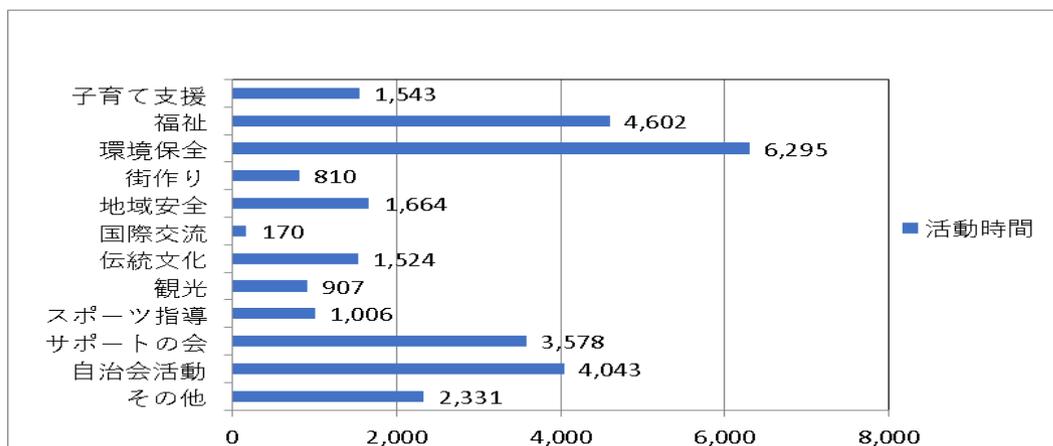
(2) 活動分野別集計 【表-2】 《グラフ2》

- ・例年と同様に、アンケートの選択項目の12の活動分野に分けて集計しました。
- ・ほぼすべての分野で活動時間が減少していますが、特に、自治会活動で大きく減りました。構成比も14%で前期比マイナス11ポイントでした。要職者メンバーの減少と自治会全体の活動低下が理由と推測されます。
- ・その中で環境保全の構成比がプラス5ポイントでした。コロナ禍で地域活動が減少する中、野外での活動への影響が比較的少なく済んだせいかもしれません。その他分野の構成比は前期と大きく変わっていません。

【表-2】 活動分野別の活動時間・構成比

活動分野	具体的な活動項目例	活動時間	構成比	10期活動時間	10期構成比
① 子育て支援	保育園・小学校での学習支援。学童保育。地域教育協議会での工作指導	1,543	5.4%	1,834	4.5%
② 福祉	福祉施設での慰問活動。福祉施設のイベント開催支援活動。病院・福祉施設での傾聴ボランティア。高齢者・障害者のための自助具製作。高齢者の生活相談。独居老人への給食配達。民生委員等。	4,602	16.2%	6,106	14.9%
③ 環境保全	公共施設の樹木の剪定・除草・清掃。河川清掃。里山保全。公共施設での花壇作り。琵琶湖岸のヨシ刈り。琵琶湖外来魚駆除。桜並木の保全。温暖化対策の啓発活動等。	6,295	22.1%	7,145	17.4%
④ 街作り	商店街役員。街活性化イベント開催の運営支援。観光施設の整備。史跡の保存等。	810	2.8%	1,093	2.7%
⑤ 地域安全	自衛消防隊員。防犯パトロール。夜回り。児童の登下校時の見守り。児童の登下校時の交通安全指導等。	1,664	5.8%	1,708	4.2%
⑥ 国際交流	国際交流協会役員。外国籍児童への生活支援。在留外国人への日本語指導等。	170	0.6%	572	1.4%
⑦ 伝統文化	神社・仏閣の護持運営員。伝統的祭り(大津祭り、宿場祭り等)の運営委支援。古文書、文化財の調査等。	1,524	5.4%	1,954	4.8%
⑧ 観光	観光ボランティアガイド。史跡巡りコース作り等。	907	3.2%	948	2.3%
⑨ スポーツ指導	百歳体操。各種スポーツの指導者等。	1,006	3.5%	977	2.4%
⑩ サポートの会	サポートの会の会議、調査、園芸クラブ作業、選択講座の助手活動、サポートの会ボランティアの日参加等。	3,578	12.6%	4,818	11.8%
⑪ 自治会活動	自治会役員。自治会主催の各種活動(住民交流会、防災、環境整備、人権教育等)等	4,043	14.2%	10,305	25.1%
⑫ その他	図書館司書ボランティア。各種学芸の指導者。パソコン指導。囲碁、将棋の指導。図書館、美術館の企画・運営。日本舞踏の指導。写経・書道の指導等。	2,331	8.2%	3,534	8.6%
合 計		28,473	100%	40,994	100%

《グラフ2》 活動分野別 活動時間



(3) 学科別集計 【表-3】 《グラフ3》

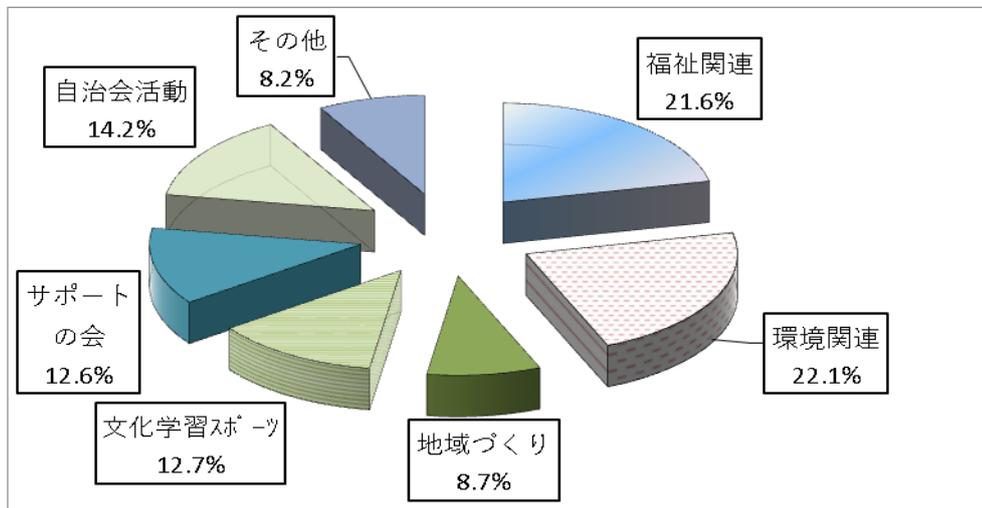
- ・園芸学科は例年通りに環境関連活動の取り組みが多くみられ、大学で学んだ知識・経験を生かした活動に励まれていることが見て取れます。
- ・陶芸学科は陶芸の技術を生かした陶芸教室の開催や助手活動以外に、福祉・環境関連でも活動比率が高く、幅広い活動に参加されています。今期は特に、陶芸学科の補助活動に注力いただきました。
- ・地域文化学科は、文化活動や福祉関連の活動、さらに自治会活動への積極的な取り組みなど広く地域の活動に貢献されています。
- ・健康づくり学科は福祉関連中心に、高齢者支援や児童福祉などの活動に携わっています。
- ・びわこ環境学科は環境問題に関連した幅広い活動や、福祉関連に多くの時間がかけてられています。
- ・引き続き各学科とも、大学で学んだスキルを基軸にして、多方面へ活動を広げておられます。

【表-3】 学科別活動時間集計

単位：時間

	園芸A	比率%	園芸B	比率%	陶芸	比率%	地域文化	比率%	健康づくり	比率%	びわこ環境	比率%	合計	比率%	活動分野
福祉関連	379	8	254	7	309	12	1,158	18	2,616	46	1,429	25	6,145	21.6	①②
環境関連	1,957	43	959	27	403	15	708	11	400	7	1,868	32	6,295	22.1	③
地域づくり	337	7	356	10	120	4	516	8	93	2	1,052	18	2,474	8.7	④⑤
文化学習スポーツ	292	6	445	13	206	8	1,622	26	789	14	253	4	3,607	12.7	⑥⑦⑧⑨
サポートの会	631	14	445	13	683	26	565	9	635	11	619	11	3,578	12.6	⑩
自治会活動	870	19	546	16	192	7	1,587	25	537	9	311	5	4,043	14.2	⑪
その他	56	1	485	14	755	28	141	2	601	11	293	5	2,331	8.2	⑫
合計	4,522	100	3,490	100	2,668	100	6,297	100	5,671	100	5,825	100	28,473	100	

《グラフ3》 活動分野別 活動時間比率



活動分野集約(12→7)

関連7分野	詳細12分野
・福祉関連	①子育て支援 ②福祉
・環境関連	③環境保全
・地域づくり	④街作り ⑤地域安全
・文化学習スポーツ	⑥国際交流 ⑦伝統文化 ⑧観光 ⑨スポーツ指導
・サポートの会	⑩サポートの会
・自治会活動	⑪自治会活動
・その他	⑫その他

(4) サポートの会活動について

サポートの会はレイカディア大学の卒業生で構成されている組織です。昨年度から名称をサポートの会に変更して、大学の存在をより多くの県民に知ってもらう PR 活動や大学事務局・在校生との交流サポートを中心に、学生募集活動の支援・在校生対象のパソコン教室や各種講習会等を開催しています。また、広報冊子を作成し、社会の皆様への情報提供もしています。年に一度「サポートの会レイカディアの日」を設け、

在校生および卒業生が参加しての交流的なボランティア活動も行っています。前期は新型コロナの影響で中止となりましたが、今期は規模を縮小して実施することができました。

コロナ禍で会全体の活動時間は減少しましたが、最近の入会人数の増加もあり体制の強化が進められています。今後ともレイカディア大学および在校生へのサポート活動を軸に、地域への貢献活動を果たしていきたいと思えます。

4. おわりに

上記のアンケート調査の報告には含めていませんが、在校生を含めた各種の同好会活動（城郭探訪、フォトウォーク、グランドゴルフ、書道、詩吟、囲碁等々）が実施されていて、卒業後も在籍時と同様に在校生・卒業生間のつながりが途絶えることはありません。これらの結びつきがそれぞれの地域で実施されている地域ボランティア活動の継続や拡大に大きく貢献しているものと思えます。

晴天の霹靂のごとく現れた新型コロナに翻弄されたこの2年間でしたが、レイカディア大学も半年間の休校期間や1年間の新入学の延期も余儀なくされました。卒業生の地域貢献活動についても例外ではなく、強くその影響を受けた実態が本調査から明らかになりました。その中でも、レイカディア大学の卒業生が粘り強く地域での貢献活動を継続している姿も確認することができました。改めまして、この調査により県民の皆様へのレイカディア大学に対するご理解が深まり、さらに卒業生および在校生の地域貢献活動への意欲がますます強まるきっかけになるよう祈念します。

最後に本アンケート調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

以 上